



有家中だより No1

令和7年 4月8日
南島原市立有家中学校
校長 本多 洋二

学級担任制から学年担任制へ！

いよいよ令和7年度がスタートしました。私も有家中学校が2年目になりました。令和7年度も、有家中学校の生徒たちのために全力で頑張っていきます。よろしくお祈りします。

令和7年度は、生徒たちの主体性、自主性を育てるために、学級担任制を廃止し、学年担任制で進めて参ります。学年職員全員で、様々な角度から一人の生徒を見ることで、可能性を見つけ、伸ばしていきます。

さて、令和7年度の有家中学校は、次のことについて努力してまいります。

＜学校教育目標＞

「心豊かで、心身共にたくましく生きる生徒の育成」

＜学校スローガン＞

「自ら考え、動く有中生！」

☆こんな子どもに……

「昨日より今日、今日より明日高める生徒」

- ・知性を磨く（主体的に学ぶ）生徒『知』
- ・心を磨く（礼儀正しく、思いやりのある）生徒『徳』
- ・身体を鍛える（心身ともに健康である）生徒『体』

令和6年度、有家中学校から、7名の職員が退職または転出し、令和7年度は、9名の職員が新たに転入しました。私たち職員一同、それぞれの持ち味を生かして、それぞれの職責を果たしていきたいと思っています。しかしながら、子どもの教育は、学校だけではできないことは、皆さんご存知のとおりです。保護者の皆様、地域の皆様と手を携えて、子どもの将来のため、夢の実現のために日々の教育に力を注ぎたいと考えています。ご理解とご協力をよろしくお祈りします。

令和7年度 職員です。

校長 本多 洋二（2年目）

教頭 川口 高功（布津中から）

＜1学年職員＞

学年主任 生駒 彩子（2年目）

1年担当 白倉 靖和（2年目）

1年担当 宮野 浩（2年目）

1年担当 松田 恋（新規採用）

1年担当 為田真理子（深江中から）

1年担当 田中 誠司（再任用教諭）

4組担任 岩永 典子（2年目）

5組担任 平 里美（3年目）

＜2学年職員＞

学年主任 田中 正一（2年目）

2年担当 近河 淳可（3年目）

2年担当 山口 直起（5年目）

2年担当 森塚菜穂子（布津中から）

5組担任 平 里美（3年目）

＜3学年職員＞

学年主任 薄田 真紀子（2年目）

3年担当 内田 朱夏（2年目）

3年担当 東 康洋（4年目）

3年担当 高木 勝也（5年目）

4組担任 岩永 典子（2年目）

5組担任 平 里美（2年目）

（裏ページへ続く）



令和7年度 職員です。(前ページの続き)

<専門職員>

養護教諭 中村 由美 (5年目)
事務職員 古賀 功輝 (新規採用)
用務員 川村 京子 (4年目)
特別支援教育助手 中村 安次郎 (3年目)
// 近藤ますみ (西有家中から)
スクールカウンセラー 松本 幸子 (新規任用)
学校支援員 吉田 明美 (5年目)
教育相談員 福田 収作 (2年目)
新採指導教員 伊福 正剛 (有明中から)
通級指導教員 宮崎 史恵 (深江中から)
A L T マディー・ラッガ ウォルター (2年目)

4月の主な行事

10日(木) 集団訓練・礼法アラカルト
自転車点検
11日(金) 歓迎行事・部活動紹介
14日(月) 生徒集会・学級委員任命式
全国学力調査(3年理、質問紙)
15日(火) 尿検査(～17日)
1年心電図検査尿検査
17日(木) 全国学力調査(3年国、数)
県学力調査(2年国、数)
18日(金) 県学力調査(3年英語)
21日(月) 内科検診(3年14:00～)
23日(水) 内科検診(2年14:00～)
24日(木) 尿検査(予備～25日)
28日(月) 内科検診(1年14:00～)

<学校スローガンについて>

「自ら考え、動く有中生！」を合言葉に、「昨日より今日、今日より明日輝く生徒」の育成を目指して、全職員一致団結、協働して取り組みます。このスローガンは、生徒たちが、将来に向けて、自分で考え、主体的に行動し、問題を解決しようとする生徒であってほしい、予測困難な時代を生き抜く人間になってほしいという願いを込めています。

7年度、特に力を入れること！

有家中の生徒へ特に徹底したいことを始業式で話しました。「挨拶・返事・後始末」の実践です。

有家中生は、気持ち良い挨拶、心を込めた返事、後始末の習慣化に取り組みます。御家庭でもご協力をお願いします。

ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

『真似(フリ)をすること』

とある飲食店の話。その飲食店、お店を出した方がいいが、暇で暇で仕方がない。かといって黙っているわけにもいかない。店主は考えた末に、ある行動に出た。岡持ち(出前セット)自転車で住宅街を走り回ったそうだ。毎日毎日、からっぽの岡持ち(出前セット)を持って・・・すると住民の間でうわさが立った。「おいしいんじゃないか?」「そんなにうまいのか?」やがて注文が殺到し、店は大繁盛したそうだ。ウソみたいな本当の話です。店主は暇なお店で、忙しいフリをしたのです。結果としてそれが評判を呼び、大成功につながった。これは、お好み焼き「千房」の社長、中井政嗣さんの体験談です。

「フリをする」って大事なことだと思います。中井社長の凄いところは、行動に移したこと、決して諦めなかった事です。「フリ」に似た言葉に「真似」があります。純粹に「あんなふうになりたい」という気持ちがあると、人は真似をします。そして、同じことを試みて、それが自分に合うかどうかを確かめることも出来ます。結果として、それが合っていれば成功につながるし、合っていなければまた別の方法を考えればいい。大事なものは、まず、やってみる。行動することです。「あの人のようになりたい」という憧れが夢へと変わり、それが志まで高まります。始まりは真似でも、続けていけば本物になります。令和7年度のスタートにあたり、皆さんも真似から始めてはいかがでしょうか。継続は、力となります。